

リモートマイク^{プラス}+

取扱説明書



スターキージャパン株式会社

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-23 3F

Tel.045-475-9701 Fax.045-475-9706

www.starkeyjp.com

© 2019 Starkey Japan. All Rights Reserved. INST0081-00-JJ-JP JPBR-JPYIN-081

2019年6月作成



目次

各部の名称と機能	2
使用方法	6
日常操作	8
リモートマイク+の装着方法	10
補聴器とのペアリング	11
Bluetooth機器とのペアリング	13
入力モードボタンを使用する	14
リモートマイク機能	14
Bluetoothを利用した通話と ストリーミング	15
磁気(誘導)ループシステム	17
FM(補聴)システム	17
ライン入力	17
ストリーミングの開始/停止	18
トラブルシューティング	19
規制に関する注意事項	22
認証情報	25

各部の名称と機能

リモートマイク+は、さまざまな種類の音源から音を2.4GHz帯ワイヤレス方式の補聴器へストリーミングするように設計されています。

騒々しい環境下で会話の相手と距離がある時など、本製品が補聴支援機器として役立ちます。本製品は下記の音源とも連動できます：

- Bluetooth A2DP プロファイル (音楽など)
- Bluetooth HFP (ハンズフリー) プロファイル (通話)
- 磁気 (誘導) ループシステム
- FM補聴システム
- ライン入力の音声

ストリーミングとは？：

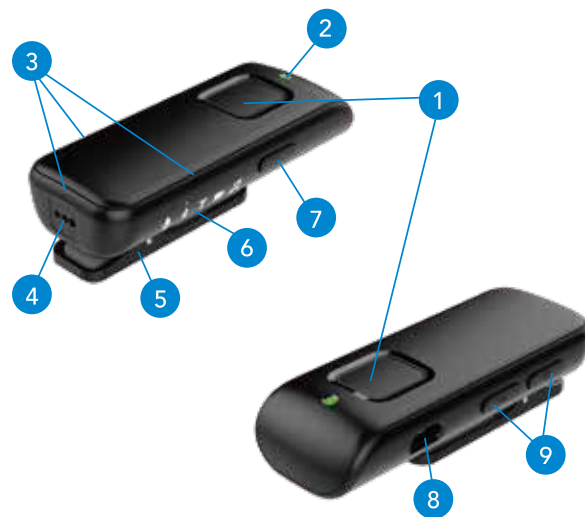
音声または音楽などのサウンドが本製品から補聴器へ直接的にワイヤレスで伝送されることです。

内容物一覧

- リモートマイク+
- ACアダプター
- 取扱説明書

別売オプション

- オーディオ入力ケーブル
- 専用ネックストラップ



1. マルチボタン
2. 表示ランプ
3. マイクロホン
4. FM受信機ジャック
5. クリップ
6. 入力モードランプ
7. 入力モードボタン
8. マイクロUSBジャック
9. 音量ボタン

1. マルチボタン

- 本製品の動作状態を切替えます。

2. 表示ランプ

- 本製品の動作状態が確認できます。

表示ランプ	現在の状態
点灯なし	電源が入っていません
緑ランプがゆっくり点滅	電源は入っているが、Bluetoothの接続が待機中です
青ランプがゆっくり点滅	電源は入っています Bluetoothも接続されています
赤ランプがゆっくり点滅	低バッテリー状態です
赤ランプの点灯	故障の可能性があります

3. マイクロホン

- リモートマイクとして使用している間、話者の声を拾います。
- Bluetoothで通話の際、あなたの声を拾います。

4. FM受信機






- ユーロプラグのFM受信機を取り付けられます。

5. クリップ

- 本製品を衣服やストラップに装着できます。

6. 入力モードランプ

- 音源を特定します。

アイコン	音源
	リモートマイク (14ページ参照)
	Bluetoothによる 通話やオーディオ (15ページ参照)
	磁気ループ (17ページ参照)
	FMシステム (17ページ参照)
	ライン入力 (17ページ参照)

7. 入力モードボタン

- 音源を変更します。

8. マイクロUSBジャック

- マイクロUSBケーブルを取り付けて充電します。
- ライン入力による音声の再生ができます。

9. 音量ボタン

- ストリーミングの音量を調節します。

ご注意: ストリーミングの音量は、Thrive(スライブ)アプリ、Thriveリモコン、補聴器本体の操作ボタン/スイッチからも調整できます。詳しくはお使いの補聴器の取扱説明書をご覧くださいか、補聴器販売店にお尋ねください。

使用方法

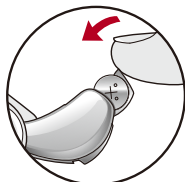
1. 本製品を起動させるには、**緑色**の表示ランプが点灯するまで、マルチボタンを2秒ほど押し続けます。



1

2. 補聴器に電源が入っていることを確認します。

- **注**: ストリーミングを開始する前に、補聴器が本製品とペアリングされている必要があります。
- 詳しくは、11ページの**補聴器とのペアリング**をご参照ください。



2

3. ストリーミングを開始します:

- Thriveアプリを開き、アクセサリー画面のストリーミングの開始を選択します。
- 詳しくは、18ページの**ストリーミングの開始/停止**をご参照ください。

4. 音源を変更するには、入力モードボタンを押します。ご希望の入力モードに切替わるまで続けてください。



4

5. Bluetooth機器のオーディオを補聴器に出力させるには、本製品に接続させなくてはなりません(表示ランプが**青色**にゆっくり点滅します)。



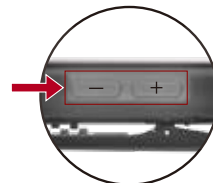
- **注**: Bluetooth機器からオーディオを開始する前に、補聴器が本製品とペアリングされている必要があります。

- 詳しくは、13ページの**Bluetooth機器とのペアリング**をご参照ください。



5

6. +ボタンと-ボタンを押して、ストリーミングの音量を調節します。



6

7. ストリーミングを停止させるには、以下のいずれかを行ってください:

- 本製品の電源を切ります。
- Thriveアプリを開き、アクセサリー画面からストリーミングを停止します。
- 詳しくは、18ページの**ストリーミングの開始/停止**をご参照ください。

日常操作

電源を入れる

表示ランプが点灯するまで、マルチボタンを2秒ほど押し続けます。



電源を切る

表示ランプが消えるまで、マルチボタンを2秒ほど押し続けます。



電池残量の低下

ゆっくりと赤い表示ランプが点滅します。補聴器のお知らせ音が5分おきに鳴ります。



充電

付属のACアダプターのマイクロUSBケーブルの端子を本製品のマイクロUSBジャックに差し込み、ACアダプターをコンセントに差します。





充電状態

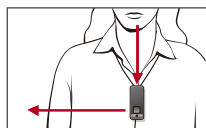
電源	充電状態	表示ランプ
切	充電中	緑ランプ点灯
切	フル充電	消える
入	充電中	緑ランプ点灯（他の動作表示のために中断することがある）
入	フル充電	消える

ご注意：ストリーミング中に本製品を充電すると、充電に時間がかかる可能性があります。本製品の電源を切ると、充電は早くなります。

リモートマイク+の装着方法

本製品は衣服に装着することや、ネクストラップを取り付けることができます。

音源がリモートマイク  または通話モードのBluetooth機器  の場合、リモートマイク+は話者の口元から20cm以内の距離に設置されなくてはなりません。



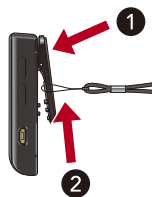
クリップ

矢印で示した部分を押し、クリップ部分が開閉し、衣服に装着させることができます。安全に衣服に装着できることを必ず確かめてから実行してください。



ネクストラップ

1. 図の通り、クリップを押しします。
2. ネクストラップの取付ループをクリップに引っ掛けて、クリップの上部まで持ち上げます。
本製品がネクストラップに安全に取り付けられているかどうか確かめます。
3. ネクストラップを首に掛けます。



補聴器とのペアリング

本製品を補聴器と通信させる為には、先ず、最初に各補聴器と本製品をペアリングさせる必要があります。ペアリングの実行は初回のみ、その後は、ワイヤレス通信の範囲内で電源が入っていれば、自動的にお互いを認識するようになります。*

本製品と補聴器のペアリングは以下の通りに行います：

1. 補聴器がお近くのBluetooth機器に接続されていないことを確認します。そのためには、
 - スマートフォンのBluetooth接続を切ります。
 - TVストリーマーやリモコンなど、補聴器とペアリングしている機器の電源を切っておきます。
2. 補聴器の電源を一旦切って、電源を入れ直します。
 - **注：**CROS補聴システムでは、補聴器とCROS送信機の両方の電源を切ります。そして、補聴器だけ電源を入れ、CROS送信機の電源は切れたままにしておきます。
3. 補聴器を本製品の半径15cm以内に置きます。

* 通常の通信範囲は、10m以内（但し、リモートマイク機能を使用時は見通し距離で20m以内）です。障害物、電波干渉、身体との位置関係などの環境的な理由により、操作範囲が限定されることがあります。操作可能な距離の拡大は可能ではありますが、音質や接続性が損なわれる恐れがあります。

4. 表示ランプが交互に青と赤に点滅するまで、入力モードボタンと音量アップ(+)ボタンを同時に7秒ほど押し続けます。



5. 補聴器を両側に装着している場合：

最初の点滅	2回目の点滅	ペアリング状態	次のステップ
①	②	両方の補聴器 ペアリング完了	必要なし
①	②	片方の補聴器のみ ペアリング完了	やり直し 1-5 を繰り返す
①	点滅 してない	ペアリング されていません	やり直し 1-5 を繰り返す

6. 補聴器を左右どちらかに装着している場合：

表示ランプの点滅	ペアリング状態	次のステップ
①	ペアリング完了	必要なし
①	ペアリング されていません	やり直し 1-4,6 を繰り返す

Bluetooth機器とのペアリング

本製品がBluetooth機器からワイヤレスでオーディオを受信するには、双方をペアリングしておく必要があります：

1. 本製品の電源が入っていること、別の機器とBluetoothで接続されていないことを確認します。
(緑の表示ランプがゆっくり点滅します。)



2. 補聴器の電池を一旦切って電源を入れ直します。そして本製品の表示ランプが青色の速い点滅になるまで、入力モードボタンと音量ダウン(-)ボタンを同時に7秒間ほど押し続けます。



3. Bluetooth機器をペアリングモードにします。リモートマイク+が現れたら、選択します。



- 注：詳しくは、Bluetooth機器の取扱説明書をお読みください。

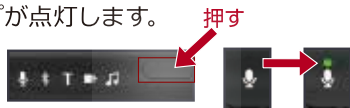
4. 本製品の表示ランプがペアリング状態を示します：

- 成功 - 2秒間ほど緑の表示ランプが点灯
- 失敗 - 2秒間ほど赤い表示ランプが点灯

入力モードボタンを使用する

現在の音源を表示する

入力モードの表示ランプがオフの場合、ボタンを押すと一時的に表示ランプが点灯します。



別の音源に切り替える

入力モードの表示ランプの点滅を、ボタンを押して利用可能な音源へ移動させます。



マイク リモートマイク機能

本製品は、身体の向きなどに合わせて、自動的にマイクロホン設定を最適化します。



騒音のある環境で話者の声に集中したい時

話者に本製品を胸元に装着してもらうことで、上からの音声を自動的に優先し、その他の方向からの音は抑えます。



静かな環境で複数の話者の声を聞く時クリップを下にして本製品を水平に置くことで、全方向からの音声を受信できます。

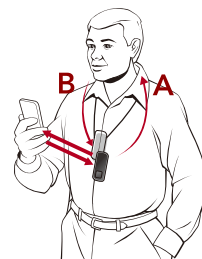


Bluetoothを利用した通話とストリーミング

通話する

(ハンズフリー・プロファイルを使用)

(A) 補聴器で電話の音声を聞きます。
(B) 本製品があなたの声を拾い、携帯電話に伝送します。



音楽を聴く

(A2DPプロファイルを使用)

補聴器でストリーミングされたオーディオを聞きます。



一般的なBluetoothの機能性

Bluetooth機器の登録	本製品はBluetooth機器とペアリングが可能であり、最大8台まで登録できます。
Bluetooth機器の登録	ワイヤレス通信範囲内で本製品とBluetooth機器の両方の電源を入れると、自動的に通信し、青色の表示ランプがゆっくり点滅する待機状態になります。 本製品は、同時に2台のBluetooth機器と接続が可能です。
音楽を聴く (または、音声など音楽以外のオーディオをストリーミングする)	本製品の入力モードが「Bluetooth」であることを確認します。Bluetooth機器から音楽(オーディオ)を再生すると、自動的に音楽(オーディオ)が補聴器に流れます。

通話機能

Bluetoothの音源を変更する	本製品が電話の発信または着信を検知し、Bluetoothの音源に自動的に変換されます	
掛かってきた電話に出る	電話の着信音が補聴器から聞こえたら、マルチボタンを押します	
掛かってきた電話を拒否する	電話の着信音が補聴器から聞こえたら、マルチボタンを2秒以上押し続けます 着信音が止まってから指を離します	
電話を切る	通話を終了したい時にマルチボタンを押します	
携帯電話と本製品の間で通話を転送する	通話中にマルチボタンを2秒以上押し続けると、本製品を介さず、電話から直接通話ができるようになります 本製品を介した通話に戻したい時は、再びマルチボタンを2秒以上押し続けて戻します	
電話を掛ける	Bluetooth通信する機器から掛けたい番号をダイヤルします 自動的に通話が補聴器を介して行うことができます	

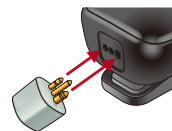
T 磁気(誘導)ループシステム

本製品は、磁気ループシステム(公共施設等で利用が可能な場合あり)から音声を受信することができます。本製品を、図のように地面に対して垂直になるように装着すると、磁気感度が良くなります。磁気誘導を入力モードに選択すると、本製品はBluetooth受信ができなくなります。本モードを止めると、本製品はBluetoothによる通信を再開しようとします。このような場合は、手動による再接続が必要になる可能性があります。詳しくは、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。



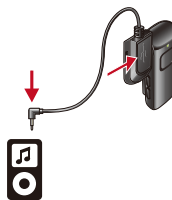
FM(補聴)システム

本製品はユーロプラグのFM受信機を取り付け、FM補聴システムの発信機から音声を受信することができます。本製品を衣服に装着する、または近くの安定した場所に置いて使用する必要があります。



♪ ライン入力

オーディオ入力ケーブル(別売オプション)をマイクロUSBジャックに差し込むと、本製品はBluetooth通信を搭載していない携帯電話、MP3プレーヤー、タブレット、PCなどからも音声を入力することができます。使用する際は、本製品を安定した場所に常に置くようにしてお使いください。



ストリーミングの開始/停止

本製品からオーディオのストリーミングを開始（または停止）するには、以下の方法があります：

- **本製品：**
補聴器へ自動的にストリーミングが開始されます。
- **Thriveアプリ：**
スマートフォンやタブレットからアプリを開きます。
アクセサリ画面からストリーミングの開始/停止を選択します。
- **Thriveリモコン：**
補聴器販売店のPCで事前に設定した「お気に入り」ボタンを押します。
- **補聴器本体のボタン/スイッチ：**
補聴器販売店の事前に設定した操作（例えば、ボタンやスイッチの長押しなど）からストリーミングを開始/停止できます。



以下の場合、ストリーミングは停止されます：

- Bluetoothが入力モードに選択されていて、音声信号の入力が検知されない場合。
- 本製品の電源が入っていない場合。

ストリーミングの開始/停止の際、補聴器からお知らせ音が再生されます。

トラブルシューティング

症状/問題	考えられる原因	解決策
補聴器からストリーミングが突然されなくなった	ワイヤレス通信の範囲ギリギリで操作されている	リモートマイク+を補聴器にもっと近づけてみましょう
	補聴器の電池残量が低下してストリーミングができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 新しい電池と交換しましょう ● 充電式補聴器の場合は、充電してみましょう
	家具や壁などの大きめの障害物が信号を妨げているかもしれない	リモートマイク+と補聴器の間に何も遮るものがないようにしましょう
	リモートマイク+とのワイヤレス通信が途切れている	「ストリーミングの開始/停止」(18頁)の手順に従って、ストリーミングを再開させます
ストリーミングされるオーディオの音質が歪んでいる	リモートマイク+が低バッテリー状態	リモートマイク+を充電してみましょう
	音源の音量が最適ではない	音質が心地よく感じるまで音源の音量を調節します
ストリーミングの音質が安定しない	<u>入力モードBluetooth:</u> Bluetooth機器がワイヤレス範囲ギリギリの位置にある	Bluetooth機器とリモートマイク+の距離を近づけてみましょう
	<u>入力モードが磁気ループ:</u> リモートマイク+が最適なストリーミングをできる位置ではない	リモートマイク+が地面に対して垂直になるように配置を確認しましょう

症状/問題	考えられる原因	解決策
ストリーミングがうるさい、または聞こえない	リモートマイク+から補聴器にストリーミングされる音量が最適ではない	リモートマイク+の音量+/-ボタンで調整しましょう
	音源の音量が最適ではない	音量が心地よく感じるまで調節しましょう
<u>リモートマイク入力モード:</u> 騒々しい環境下で話者の声が聞き取り難い	リモートマイク+の位置が話者から遠すぎるかもしれない	リモートマイク+を話者の口元近くまで移動させてみましょう
	リモートマイク+が衣類に被われている、または位置が良くない	リモートマイク+が話者の声を拾えるように配置を見直しましょう
<u>Bluetooth入力モード:</u> 通話中にあなたの声が相手に聞こえていない	リモートマイク+の位置があなたの口元から遠すぎるかもしれない	リモートマイク+をあなたの口元近くまで移動させてみましょう または大きな声で話しましょう
<u>磁気ループ入力モード:</u> 補聴器から通話が聞こえない	磁気ループ入力モード中は携帯電話のBluetooth接続が無効になります	別の音源に切り替えてみましょう 必要に応じてBluetooth接続を再設定します
表示ランプが緑色または青色にゆっくり点滅しているのに、補聴器へ音声が入力されない	補聴器がストリーミングされる音声を受信する設定になっていない	ストリーミングを開始するには、「ストリーミングの開始/停止」(18頁)の手順に従って設定してみましょう

症状/問題	考えられる原因	解決策
表示ランプが緑色または青色にゆっくり点滅しているのに、補聴器へ音声が入力されない	補聴器がリモートマイク+とペアリングされていない	「補聴器とのペアリング」(11頁)の手順に従って設定してみましょう
	音声信号が入力されていない	<ul style="list-style-type: none"> 音源に使用されている機器の電源を確認しましょう 音源に使用されている機器のミュートの解除や音量を上げてみます 磁気誘導ループシステムやFM補聴システムが機能しているか確認します
赤い表示ランプが点灯している	エラー状態の可能性	リモートマイク+の電源を切り、30秒ほど時間をおいてから、再度電源を入れてみましょう
入力モードランプが細かく点滅している	使用されている音源からの音が時々途切れる	オーディオ入力ケーブルの使用、FM受信機の使用、またはBluetooth接続の再設定を検討してみましょう
入力モードランプが点灯しない	消費電力を節約するため、入力モードランプが点灯されない	入力モードボタンを押して、入力モードランプを点灯させます
使いたい入力モードが利用できない	入力するためには、何らかの要素が欠如している	ライン入力ケーブルの使用、FM受信機の使用、またはBluetooth接続の再設定を検討してみましょう
1台以上のBluetooth機器とペアリングできない	リモートマイク+が、すでにBluetooth機器と交信している	「Bluetooth機器とのペアリング」(13頁)の手順に従って設定してみましょう
リモートマイク+の表示ランプが青色にゆっくり点滅している間、突然TVストリーマー(別アクセサリ)の音声が入力されてしまった	TVストリーマーからの音声よりも、別のBluetooth機器の音声が入力されている	リモートマイク+でBluetooth入力モードの使用を止めてみましょう

規制に関する注意事項

必須情報



電子機器は、地域の規則に従って処理する必要があります。

古い電子機器の廃棄手順

Starkey Hearing Technologiesは、お住まいの地域の法律に従って本製品を廃棄することを推奨しています。

以下は、お住まいの地域の廃棄/リサイクル担当者へのアドバイスになります。本製品を廃棄する際、必要に応じてこの取扱説明書を一緒にお渡しください。

廃棄/リサイクルご担当者様

この製品には、リチウムポリマー電池が含まれています。電池を取り外す必要がある場合には、

- 本製品の電源をお切りください。
- ドライバーを使用して本体カバーを取り外してください。
- ショートによる電気事故を防ぐため、回路基板からバッテリーワイヤーを切ってください。
- マイナスドライバーを使用して、本体から電池を取り外してください。

使用目的

本製品は、気導式2.4GHzワイヤレス補聴器の付属アクセサリーです。さまざまな音源からお使いの気導補聴器へワイヤレスで音を伝送することを目的としています。騒々しい環境下で話者と距離があるときに装着することで、補聴支援機器として機能します。また、本製品は、磁気誘導ループ信号、FM信号（ユーロプラグのFM受信機を装着させたとき）、ライン入力、Bluetoothにもつながります。

本製品は、IEC60601-1医用電気機器規格タイプB形の適用部品に分類されています。

本製品は、国際的なEMC（電磁両立性）試験の最も厳しい基準に適合するように設計されています。ただし、送電線からの電磁波、空港の金属探知機、他の医療機器からの電磁波、無線信号、静電気放電などによって干渉を受ける可能性があります。

本製品は、中性洗剤を湿らせた布で、綺麗に拭き取ることができるように設計されています。

本製品が除細動器やペースメーカーといった植込み型医療機器に干渉する可能性があるかと懸念される場合は、医師または医療機器メーカーに連絡してください。本製品をMRI検査室または高圧室では使用しないでください。本製品は炭鉱や化学工場といった環境での使用は認められていません。

航空機内での使用

本製品は、航空会社の客室乗務員の許可が下りない場合は使用しないでください。

国外での使用

本製品は、日本での使用は承認されていますがそれ以外の国・地域での使用は承認されていない場合があります。海外旅行中に本製品を使用すると、他の電子機器と干渉する可能性があることに注意してください。

本製品は以下の温度範囲で設計されています。

- 動作時：-10～+45℃（14～113°F）、湿度 10%～95%

警告：本製品を他の電子機器のすぐ近くで使用しないでください。本来の性能を発揮できない可能性があります。やむを得ず使用する場合は、補聴器と電子機器が正しく機能していることを確認してください。

警告：本製品に製造元以外の部品を使用すると、製品の性能の低下につながる可能性があります。

警告：本製品から30cm以内の距離でワイヤレス通信機器を使用している場合、補聴器と本製品のペアリングの性能が低下することがあります。このような場合は、ワイヤレス通信機器を本製品から遠ざけてください。

警告：付属のACアダプターは本製品専用です。他の機器に接続して使用しないでください。

本製品は防塵・防水に対して、正式に国際等級 (IP) は取得していませんが、IEC60529で規定されたIP 5Xレベルの試験は実施されています。これは、本製品が、塵や埃に保護されている、IP 5Xの同等製品であることを意味しています。

本製品には、使用者が自分自身で交換できる部品は含まれていません。本製品を分解や改良することはできませんので、ご注意ください。

本製品を、取扱説明書に記載されていない機器と接続することはお止めください。

本製品の耐用年数は3年以上です。

Wireless Technical Description

Starkey Hearing Technologies Remote Mic + operates in the 2.4- 2.4835 GHz band with a maximum effective radiated power of 8 dBm with transmission modulation type of 1M12FXD and 1.1 MHz bandwidth. The receiver section of the radio has a bandwidth of 2 MHz.

The Remote Mic + has been tested to, and has passed, the following emissions and immunity tests:

- IEC 60601-1-2 radiated and conducted emissions requirements for a Group 1 Class B device as stated in CISPR 11.
- Harmonic distortion and voltage fluctuations affecting the power input source as stated in Table 2 of IEC 60601-1-2.
- RF radiated immunity at a field level of 10 V/m between 80 MHz and 2.7 GHz as well as higher field levels from communications devices as stated in Table 9 of IEC 60601-1-2.
- Immunity to power frequency magnetic fields at a field level of 30 A/m.
- Immunity to ESD levels of +/- 8 kV conducted discharge and +/- 15 kV air discharge.
- Immunity to electrical fast transients on the power input at a level of +/- 2 kV at a 100 Hz repetition rate.
- Immunity to surges on the power input of +/- 1 kV line to line.
- Immunity to conducted disturbances induced by RF fields on the power input as stated in Table 6 of IEC 60601-1-2.
- Immunity to voltage dips and interruptions on the power input as stated in Table 6 of IEC 60601-1-2.

認証情報

Starkey Hearing Technologies

6700 Washington Ave. South
Eden Prairie, MN 55344 USA



FCC ID:EOA-24RMQ

IC:6903A-24RMQ (Model 950)



Wm. F. Austin House, Bramhall Technology Park
Pepper Road, Hazel Grove, Stockport SK7 5BX
United Kingdom



This device produces radio frequency energy. Interference may occur in the vicinity of equipment marked with the following symbol.



Class II device



Dispose of properly



Consult operations manual



